

【スマトラ島沖地震・津波復興支援事業】

看護師 河合 結子

平成 20 年 1 月 5 日から約 1 年間、スリランカへ行きます。「スリランカ・・・どこ？」とよく聞かれますので少し紹介しておきます。スリランカはインドの東に浮かぶ小さな島です。国民は主にインド系の顔をしており、主食は米、それにカレーです。またイギリスの植民地であった歴史的背景から紅茶（セイロンティーなど）栽培が発展しています。年中温暖な熱帯地域で、英語も通じますが公用語はシンハラ語とタミル語、7 割は仏教徒です。

私の事業地は首都から車で約 3 時間の所でプッタラム県という所です。ここは衛生状態が悪く、低栄養児が多くいます。今回の目的は、井戸やトイレの整備、5 歳未満児の栄養状態の改善、スリランカ赤十字社の組織強化と自立発展性を促す活動を行います。地域へは調査などで時々家庭訪問に行くこともありますが、地元保健省や農業省、水道局、赤十字社との打合せや、イベント・会議などでの調整役が主な仕事内容です。現地では 2006 年から復興支援が行われており、25 ヶ国程の各国赤十字社や多くの団体が今も活動を行っています。日赤要員も数名が現地に赴任して様々な事業が各地で行われており、お互いに協力し合いながら活動しています。

今回の派遣に際し、たくさんの方から応援メッセージを頂きました。また常日頃から皆様には国際医療救援部へのご協力・ご理解をいただき感謝しています。前回のフィリピンでの活動経験を活かし、心身の健康と安全管理に留意して頑張りたいと思います。



看護師 河合 結子 スリランカ赤十字社プッタラム支部の
ボランティアたち